

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月30日

兵庫県知事 井戸 敏三殿

提出者 株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所

住 所 加古川市金沢町1番地

氏 名 常務執行役員 加古川製鉄所長

柴田 耕一郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 079-436-1130

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 神戸製鋼所 加古川製鉄所
事業場の所在地	兵庫県 加古川市 金沢町1番地
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2211 高炉による製鉄業
②事業の規模	製造品出荷額 43,465,723万円 (平成25年度実績)
③従業員数	2,916人 (平成26年6月1日時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（平成25年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり t
(これまでに実施した取組) ・脱水設備の維持管理を適正に行い、中間処理残渣量を低減する。	
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙のとおり t
(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を維持継続する。	
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・工場内の保管場所は、①リサイクルゾーン、②ECOセンター（ECOステーション）、③可燃物回収ボックス等があり、各部署・工場からの①発成品、②不燃物、③可燃物を分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の取組を維持継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・鉄含有ダスト等を鉄源として有効利用する。 ・高炉や転炉スラグ等を基に再生路盤材を製造し有効利用する。 ・レンガくずを耐火物原料として再利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状の取組を維持継続する。 ・レンガくずからのスラグ分別を行い、再利用の拡大を図る。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	+	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・脱水設備の維持管理を適正に行い、中間処理残渣量を低減する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・現状の取組を維持継続する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・高炉湿ダスト及び転炉微粒ダストに関して、鉄源として他鉄鋼会社・セメント会社への委託を行い、廃棄物のリサイクルを推進する。 ・廃ベルトに関して、可能な限り、再生利用会社へ委託し、廃棄物のリサイクルを推進する。		

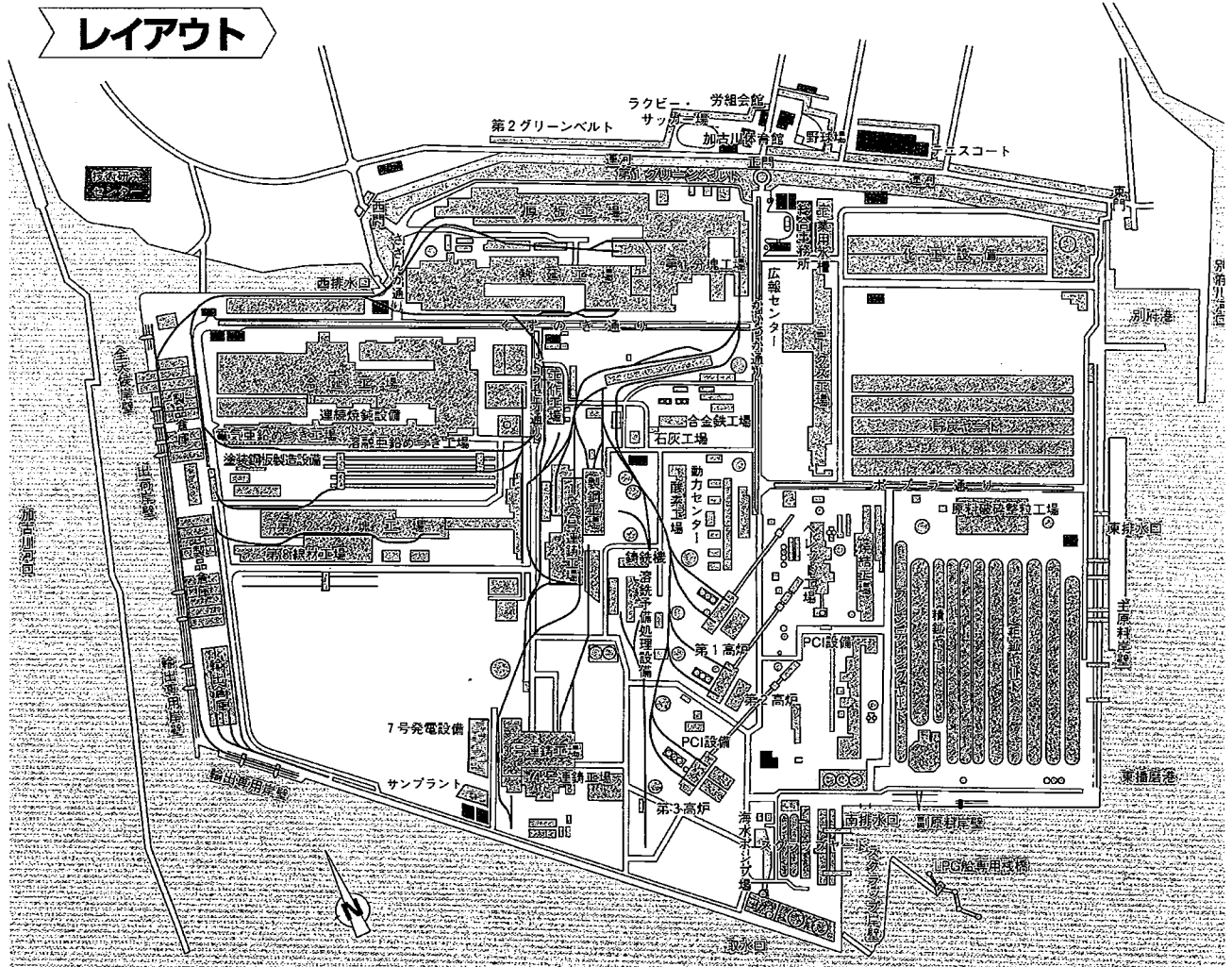
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を維持継続する。		
※事務処理欄			

備考

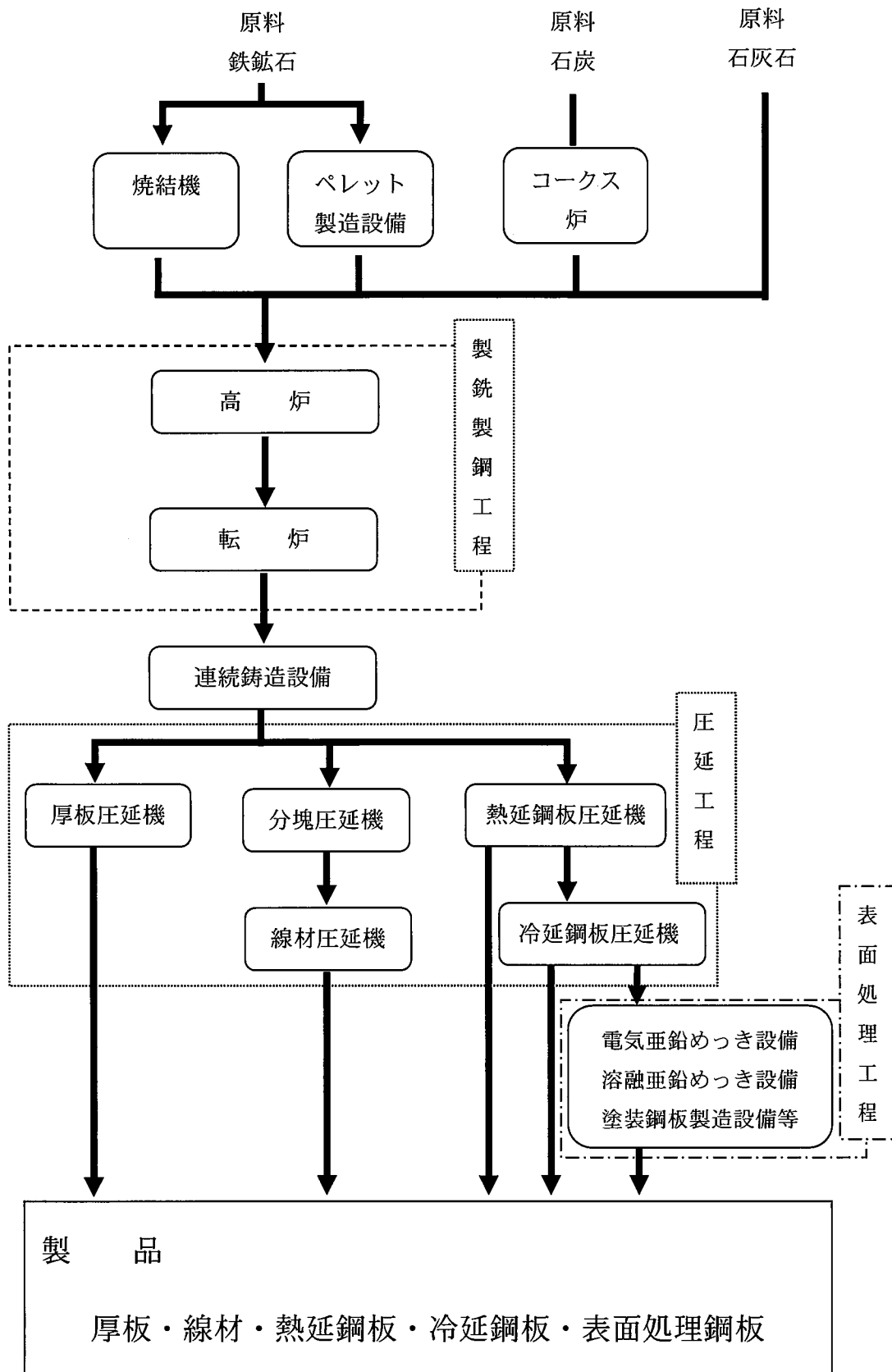
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

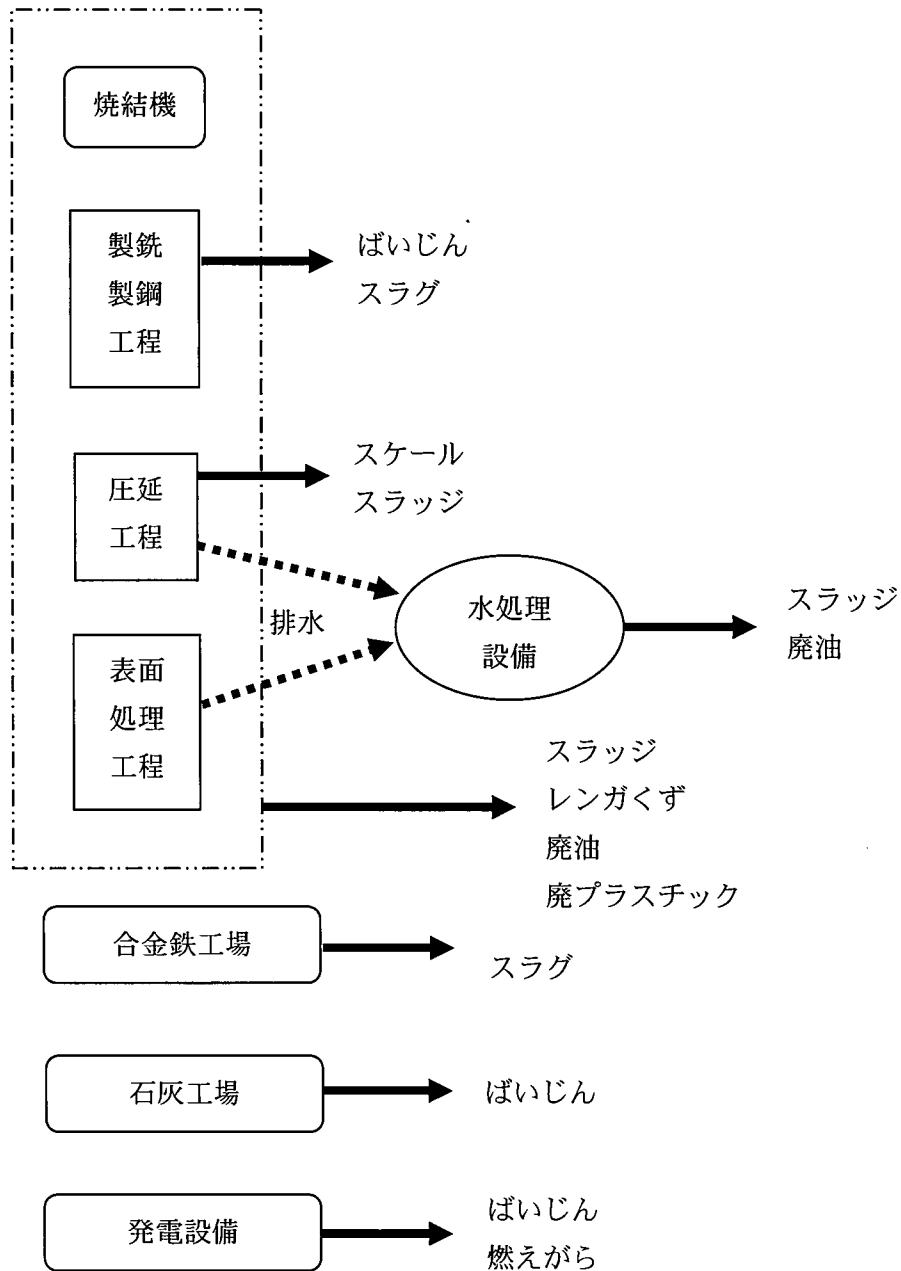
別図1 工場配置図



別図2 製造等フローシート



別図 廃棄物発生フローシート



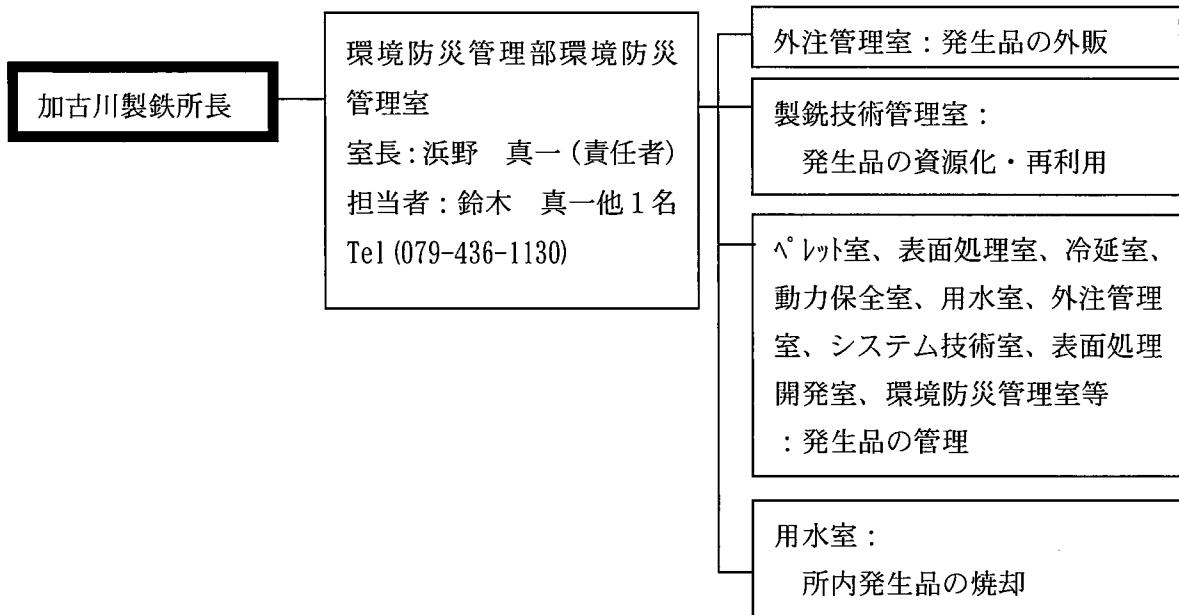
※所内リサイクル又は中間処理後に外販実施。それらを実施できないものに関しては、外部委託処分。

管理体制図

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者		所属：加古川製鉄所 職・氏名 常務執行役員 所長 柴田 耕一郎
廃棄物担当組織		組織名：環境防災管理部 環境防災管理室 職・氏名 室長 浜野 真一 組織人数：3人
役割	統括責任者	廃棄物処理に関する方針の決定 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
	廃棄物担当部署	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握 中間処理業者、再生利用業者、最終処分業場の調査・選定及び管理 委託契約の締結 廃棄物管理表の適正運用と管理 監督官庁への各種報告 社員、関連会社に対する教育・啓発 処分方法の見直し・開発、リサイクル先の開拓の検討 電子マニフェストの導入・適用拡大

廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
排出量	23,741	1,994	6	18	575	76,433	146	74,888	318	427,599	605,718

○計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
排出量	22,399	1,974	6	18	473	75,669	140	50,612	315	416,123	567,729

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら再生利用を行った量	10,761	0	0	0	0	76,421	0	0	318	277,950	365,450

○計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら再生利用を行う量	14,115	0	0	0	0	75,657	0	11,186	318	275,171	376,447

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量した量	113,505	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113,505

○計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理により減量する量	85,103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,103

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

○計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
全処理委託量	12,980	1,994	6	18	575	12	146	63,702	0	149,323	228,756
優良認定処理事業者への処理委託量	208	272	5	0	333	12	0	10,500	0	0	11,330
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	120	12	0	24,500	0	149,323	173,955
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,450	1,994	6	18	454	12	0	24,500	0	149,323	177,757

○計画 目標

単位:t

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず	紙さい(紙さい混合土砂含む)	がれき類	ばいじん	合計
全処理委託量	7,450	1,974	6	18	473	12	140	39,426	0	140,953	190,452
優良認定処理事業者への処理委託量	0	500	6	0	270	12	0	4,200	0	0	4,988
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	90	12	0	16,200	0	149,323	165,625
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	1,474	6	18	383	12	0	16,200	0	140,953	159,046